

令和7年5月30日
東京厚生信用組合

第16回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第16回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第17回会議は、令和7年9～10月頃に開催する予定です。

— 記 —

1. 日 時 令和7年3月21日（金） 16:00～17:00

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

（経営諮問委員）（五十音順、敬称略）

鈴木 豊 （公認会計士・税理士）

西岡 修 （社会福祉法人 白十字会 理事長）

渡辺 由佳 （東京都商工会連合会 専務理事）

（東京厚生信用組合）

土井 真一郎（理事長）

小野寺 栄治（常務理事）

中嶋 勉（常勤理事）

癸生川 徹（常勤理事）

辻田 浩之（常勤理事）

森尾 みゆき（常勤監事）

4. 当組合からの説明内容

辻田理事から、以下の議題について、資料に基づき説明した。

① 第四次経営強化計画の履行状況について

② 第五次経営強化計画の策定状況について

③ その他（意見交換）

5. 会議における主な意見等

出席委員の皆様から、以下のようなご意見・ご提言をいただきました。

- 私どもの団体でも人材確保は苦慮しており、新卒採用は何名か確保できたが、どちらかといえば中途採用での確保が多い状況となっている。
新卒採用の競争が激しい中で、5名の採用が確保できているのは素晴らしいと思う。
- 施設運営の中でも、運営管理部門として経理や財務の人材に課題を抱えている。
資格はあるが実務経験がない方や、経験等ある方は年配の方が多く、10年後の心配をしてしまう。そういった人材の育成等深刻な課題と捉えている。
- 福祉業界が全体として厳しい運営状況にあることは国も認識しており、以前は合併という形があったが、2020年制度改定により社会福祉連携推進法人制度が施行されたが、なかなか進んでいない。合併については怪しいブローカーが、法人の資金を吸い上げて、経営困難になるケースがある。コロナ禍が明けて、平常時における経営には慎重さが必要だと思う。
- 新卒採用者について、人材紹介会社経由であることは仕方がないことではあるが、紹介手数料が高いと思う

6. 土井理事長からの回答

本日は、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。今後の業務活動に活かしていきたいと思います。

以上